

ふる〜ぶ

吉野川ファン通信

VOL.88

2007/6

「ふる〜ぶ」はフランス語 (fleuve) で海にそそぐ大河のことです。
ひと、まち、自然、歴史、風景などの吉野川をとりまく様々な表情をみなさんにお伝えします。



1 page [特集] 吉野川アラカルト

映画に登場した吉野川。
映画「眉山-びざん-」をたずねて

徳島で1ヶ月半におよぶ長期ロケが行われ、
私たちの知っている風景が登場するこの映画。
ゆたかな水を湛えた吉野川も、もちろん登場しています。
この映画の魅力を探りました。

3 page 吉野川いまむかし 善入寺島編 PART2

4 page ふる〜ぶ編集部がおじゃましま〜す! 特別編 「吉野川と那賀川にかかる橋」ホームページ作成

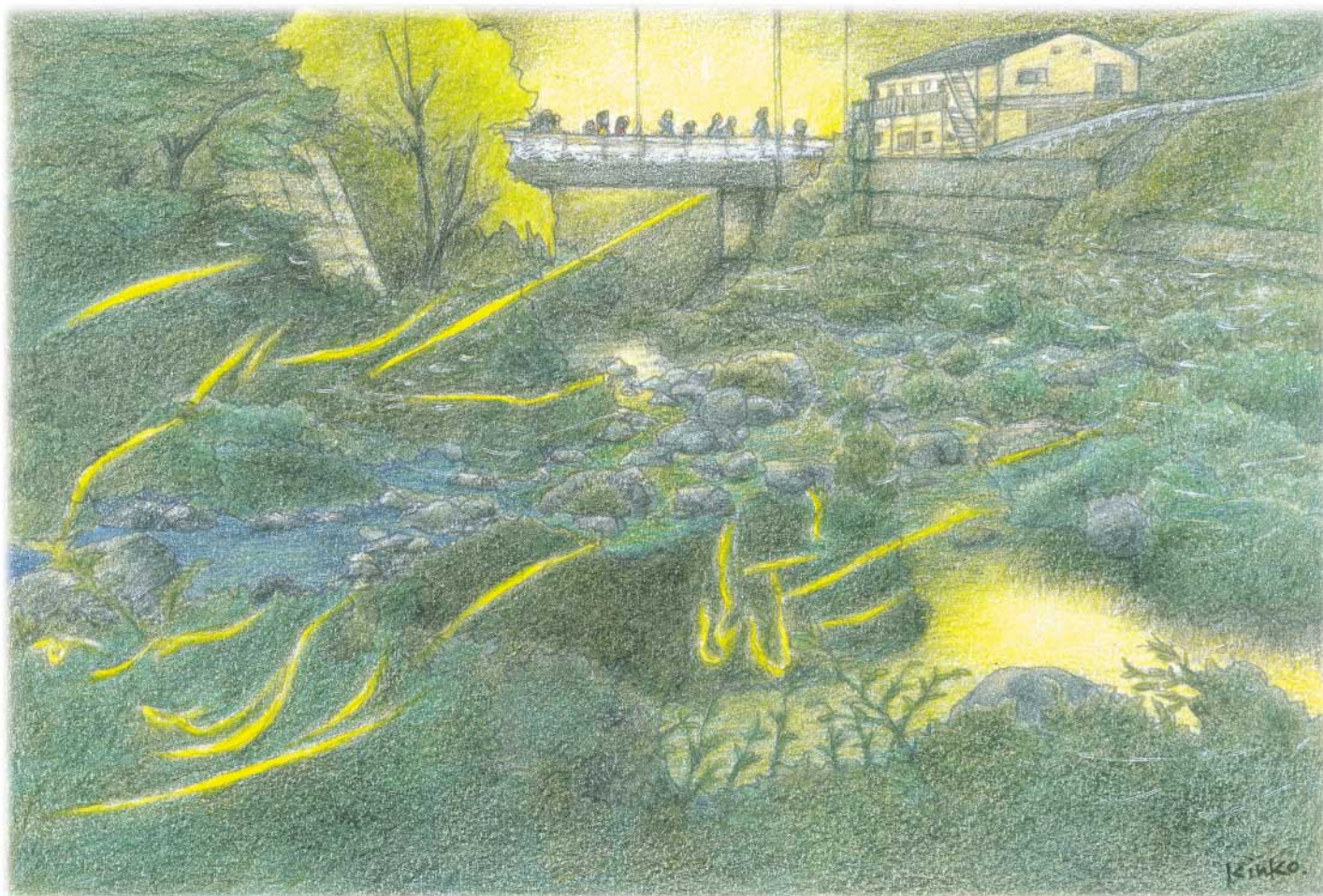
5 page ふる〜ぶめいと通信 吉野川の散歩

6 page Ra♪Ra♪Ra♪エッセイ セージを食べましょう

ふる〜ぶ INFORMATION
「吉野川の野鳥ガイドブック」をつくりました。

7 page よりよい吉野川づくり<第25回> 平成19年度の徳島河川国道事務所における 吉野川に関する主要な事業を紹介します。

ふる〜ぶひ・ろ・ば
編集後記・今月の表紙イラスト・プレゼント



映画に登場した吉野川。 映画「眉山-びざん-」をたずねて

5月12日(土)より、全国東宝系で公開されている映画「眉山-びざん-」

(徳島ホールと北島シネマサンシャインで上映中)。みなさん、ご覧になりましたか?

これは、徳島を舞台にした母と娘の絆を描いた物語で、娘咲子が、父と母との秘めた愛を知ることによって、自分も新しい人生を踏み出していくというストーリーです。

昨年、徳島で1ヶ月半におよぶ長期ロケが行われ、私たちの知っている風景がふんだんに登場するこの映画。

ゆたかな水を湛えた吉野川も、もちろん登場しています。

この映画の魅力を探りました。

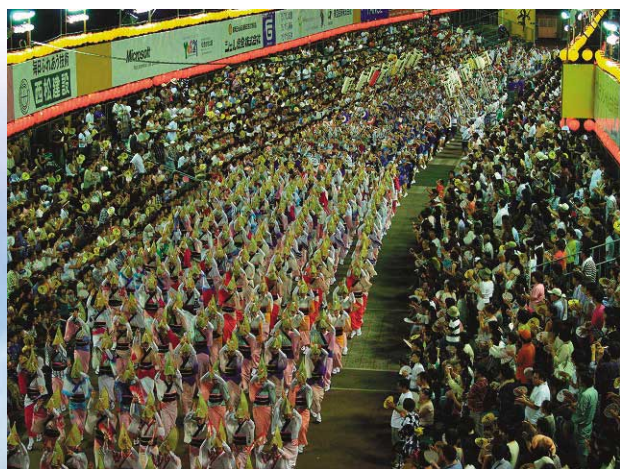


©2007「眉山」製作委員会

眉山 —びざん— Story

東京の旅行代理店で働く咲子は、故郷徳島の母が末期癌に侵されていると知る。ちゃきちゃきの江戸っ子の母は、人呼んで神田のお龍(おりゅう)。相手が誰であろうと、理不尽

なことには凜として啖呵を切る。それでいて、面倒味がよく、やさしく情愛にあふれ、多くの人に慕われていた。一方、娘の咲子は、相談もなく自分ひとりでさっさと物事を決めてしまう身勝手な母に、寂しさとわだかまりを覚えていた。徳島に帰り母を看取ろうと心に決めた咲子は、母が“献体”を申し出ていたことを知る。咲子を静かに、優しく包み込む医師寺澤との恋、優しくあたたかい故郷・徳島の人々とともに、咲子は、今まで知ることのなかった母の人生を知っていく。



©2007「眉山」製作委員会



©2007「眉山」製作委員会



徳島での映画のロケ地や撮影時のエピソードも紹介された眉山ロケマップが作成されました。徳島市観光課、阿波おどり会館、徳島駅前観光総合案内所などで無料配布中です。ロケマップを手に徳島の魅力を再発見しませんか。

◆問い合わせ: 映画「眉山」支援委員会(徳島市観光課) TEL088-621-5232

「眉山ロケマップ」配布中!



映画「眉山-びざん-」の魅力

書店での出会いがはじまり

書店で、初めてこの本を見たのが、2004年の12月。装丁が魅力的だったのと、さだまさしさんの前作「解夏」が非常に良かったので、思わず手にとりました。

すぐさま読んでみたところ、母と娘の心の交流を軸にしたシンプルなストーリーを中心に、母と娘の絆、母の恋、娘の恋、まだ見ぬ父への娘の思い、それぞれの物語がラストの壮大な阿波おどりのシーンに集約されている。そこに、興奮と感動を覚えました。すごく映像的だと思いましたね。原作者のさださんはミュージシャンですので、文章が非常に音楽的なんですね。よしこのリズムが聞こえてくるようでした。

日常の光景がそこここ。忘れがちな大切なもの

この映画には、普段暮らしているとずっと見逃してしまうような、徳島の日常の風景がふんだんに出ています。ご覧になった皆さんにも、とても魅力的に映っていると思いますよ。

また、風景だけでなく俳優さんの演技も素晴らしく、普段であれば気づかないようなふとしたセリフに、他人への心遣いや、愛情が感じられる、そんなシーンも多くあります。

この人インタビュー

それらは、普段の生活では見過ごしてしまいがちですが、実はとても大切なもの。監督は、この映画でそういうことも織り込みながら丁寧に撮ってくれました。



株式会社東宝映画企画部
プロデューサー 遠藤 学さん

携わっていただいたみなさんが、この映画に参加したことを誇りに思ってください。

そのことがとても嬉しかったです。そんな皆さんの気持ちは、スクリーンに反映されていると思います。

主人公 咲子の故郷の象徴である眉山や吉野川

町のすぐそばに、眉山がある。当然のことですが、徳島市内にいますと、どこからでも見ることができますよね。町全体が眉山に包まれ抱かれている、いつもそばにあるあたたかい存在のような感じで、とても魅力的です。

また、水を湛える新町川、吉野川の姿が印象的で、徳島は「水のまち」という印象を受けています。いつもご覧になっている吉野川がスクリーンを通して観ると、このように映るのかとびっくりなさると思います。

多くの県民の参加

この映画は、徳島の皆さんのご支援なくしては、成り立たなかった映画です。

映画「眉山」支援委員会の皆様、ご協力いただいた17,016人のエキストラの方々、ボランティアの方々、感謝してもきれないほどです。これほどの体制で映画を支援してくださったのは、全国的にも他に例がないのではないのでしょうか？

圧巻の阿波おどりシーン

先ほどもお話したように、阿波おどりのシーンは、登場人物の物語が集約された、映画のクライマックスでもあります。俳優さんの演技、洗練された阿波おどり、そしてよしこのと映画音楽がいまった一種のレビューのようなこのシーンは、映画を見たという満足感、幸福感を、きっと味わっていただけるものだと思います。

取材を終えて

この映画の仕事で初めて徳島を訪れたという遠藤プロデューサー。徳島とは構想より2年以上のおつきあいになります。「また、今年の阿波おどりに来たいな」とお話されていた遠藤プロデューサー。徳島を愛する人が、またひとり増えたことに喜びを感じました。

映画「眉山-びざん-」の産みの親ともいべき遠藤プロデューサーは、眉山山頂から見る青い空と、青き吉野川のよように、さわやかな方でした。

南内町映画眉山を支援する会

映画のクライマックスとなるのが南内町演舞場で撮影された阿波踊りのシーン。踊り子や、観客役のエキストラが連日にわたり協力しました。地元となる南内町での撮影に全面的に協力をしたのが「南内町映画眉山を支援する会」です。小林さんが中心とな

って、エキストラ500人や会場の周りの整理係30人を集めました。特に、演舞場で出演者の周りに座る80人程度は必ず映るので5日間の撮影と予備日すべてに、参加できる方でないといけません。夕方から深夜にかけての撮影。エキストラ一人ひとりを知っている小林さんは撮影期間中は裏方となり、出欠を確認し、長時間にわたる撮影での緊急事態にそなえました。すべての撮影が終わった時に、エキストラ担当の助監督が小林さんに涙を流しながら「ありがとうございました」と言ってくれたことも感動的な出来事。

一足はやく映画を観た小林さん。普段から新町川水際公園や新町川沿い



代表 小林 正行さん

撮影時にスタッフの待機用として利用された東屋にて撮影時の写真も見ることができます。

は散歩コースになっているお気に入りの場所。映画のなかでも何度も眉山と水辺の風景が登場します。映像になるとさらに徳島の景色の美しさを感じたそうです。

多くの徳島県民の協力によって撮影された映画眉山。「ストーリーや眉山のまわりの風景も感動しますよ」と話してくれました。



提供：映画「眉山」支援委員会

善入寺島編 PART 2

吉野川 いま むかし

このコーナーでは、吉野川の
今と昔の写真を見ることによって、
ふるき時代をみつめ、
未来の吉野川を創造します。



児島橋

昭和4年4月と記載があります。橋がか
けられたばかりのころと思わ
れます。県や市などの公共
機関ではなく、個人が私財で
作った賃取り橋でした。「お
じいさんと、その弟が、収穫
のたびに、善入寺島の農作物
を船に載せて運ぶのは大変
やけんと私財で作ったんです」
と話す、今も吉野川市児島に
住む金子定夫さん。この写
真は、金子さんから坂本さん
に提供されたものです。

吉野川最大の川中島 善入寺島。東西6km、南北1.2km。面積は、500ヘクタールにおよびます。吉野川第一期改修工事により、水害の中心となっている善入寺島を遊水地とすることが計画され、最終的に506戸約3000人が大正5年までに移転を完了しました。いまは、田畑が広がる耕作地となっています。善入寺島にたつとき、吉野川の治水のため、先祖代々生まれ育った土地を離れなくてはならなかった人がいたことを思わずにはいられません。先月に続きまして、PART2をお届けします。

(写真提供・阿波市在住 郷土史家 坂本裕二さん)

昔



今

学島橋が
かかっています。

昔



火薬庫跡

吉野川第一期改修工事に使わ
れた火薬を貯蔵していた火薬
庫跡。火薬は水が大敵なので、
火薬庫は、洪水で濡れないよう
に島の高いところに置かれて
いました。基礎工事のあとが
残る写真。今は、火薬庫跡の碑
が残るのみです。



今

昔



吉野川中央橋

昭和4年 善通寺師団工兵第
十一大隊が作った沈下橋。それ
までは源太の渡しが、現在の吉
野町と柿原と、吉野川市鴨島町
知恵島を結んでいました。

現在、橋があった付近
には、阿波中央橋がか
かり、かつてあった源
太渡しの説明板や、標
柱がたっています。

今



※この部分は善入寺島ではありませんが、
貴重な資料ですので、一緒に掲載しました。



ふれあい橋 美馬市穴吹町と脇町を結ぶふれあい橋。
自転車と歩行者専用の橋であることに興味をもちました。
(久保可奈子さん撮影)

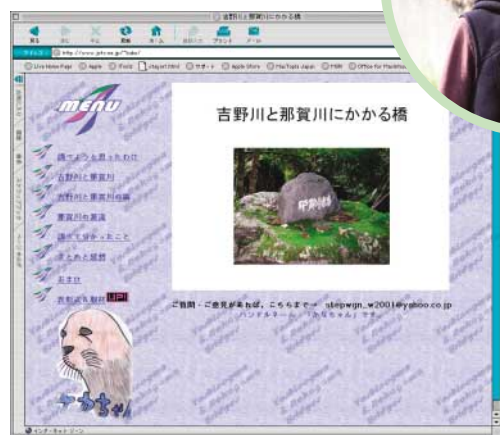
特別編

吉野川と那賀川の研究を小学校2年生の時からはじめ、インターネット上でホームページ(HP)を作成した牛島小学校5年生の久保可奈子さん。昨年、パソコン雑誌主催の「こどもホームページコンテスト」で準グランプリを受賞しました。HPでは、「吉野川と那賀川にかかる橋」というタイトルで橋がどこにかかっているのか地図上で説明し、川の特徴の紹介やフォトムービーなどを作成し、見ごたえのあるHPになっています。今回は久保可奈子さんに、研究してわかったことや吉野川や那賀川について聞いてみました。

四国で一番大きな川、吉野川。久保さんが小学校2年生の時、家の近くに阿波市吉野町と吉野川市鴨島町を結ぶ西条大橋が完成しました。潜水橋から大きな橋にかわったことから、洪水時に橋が川に浸かる心配もなくなりました。いったい徳島県内を流れている四国で一番大きな吉野川にはどんな橋がかかっているの



久保可奈子さん
「PCで文字を打ってHPを
完成していくうれしさを、
と話してくれた。」



吉野川と那賀川にかかる橋 HP
<http://www.jctv.ne.jp/~kubo/>

「吉野川と那賀川にかかる橋」ホームページ作成

だろう?と興味をもつようになりました。小学校2年生の時に夏休みの自由研究として吉野川にかかる橋の調査をはじめました。地図で橋がある場所を確認し、お父さんの久保義博さんと一緒に徳島県内の吉野川に架かる橋をすべて見てまわり写真撮影を行いました。その結果、橋の数が多いことや吊り橋や潜水橋など、橋の種類も多いことに驚いたそうです。そして4年生になったときに、徳島で2番目に大きな那賀川についても調べたいと思いました。那賀川にはどんな橋がかかっているのだろうか? 吉野川に架かる橋と違いがあるのか、また有名になったアゴヒゲアザラシのナカちゃんがいたことも興味を持つきっかけになりました。

いざ調べてみると、吉野川よりも川の距離が短い那賀川に架かる橋の数が、多いこと。吉野川が平野部を多く流れているのに対して那賀川の方が山間部を蛇行して流れ、吊橋が多く、橋の長さも短く100メートル以下の橋が数多くあること、また、橋の種類としては吉野川の方が多くなど、数多くの発見がありました。

久保さんの研究の特徴は本からだけでなく、国土交通省の職員にも直接話を聞いたり、現地へでかけ取材活動もおこなっていること。

3回くらい転倒しながらも山道を進んで那賀川の源流にたどりついたのも、とてもうれしかったそうです。久保さんのHPをみると吉野川と那賀川のことがよくわかります。みなさんもぜひHPに遊びにきてみてくださいね。



那賀川源流にて
源流に行く途中ではシカにも
会ったそうです。

吉野川三辞典

さ 早明浦ダム

吉野川河口から142km地点の高知県土佐町と本山町に建設され、昭和50年4月から運用を開始した治水・利水・発電を目的とした多目的ダム。ダムの高さ106m。長さ400m。貯水池面積7.5km²、総貯水量3億1600万m³。新規用水として吉野川総合開発計画により四国4県に水道用水・工業用水・農業用水を供給し「四国のみずがめ」としての役割を果たしています。



提供:水資源機構池田総合管理所



「ふる〜ぶめいと」は、
吉野川が大好きな
人たちの集まりです。

「ふる〜ぶめいと」の活動は、吉野川や吉野川流域に関する身近な情報を「ふる〜ぶ」に提供することにより、吉野川に親しみや、関心を持っていただいて、吉野川ファンの輪を広げていただくことを目的にしています。

めいと レポート

「吉野川の散策」

美馬市協町 森本 昇さん

もう春も真っ盛り、吉野川の堤防の散策から
一歩吉野川の川原に入ると、堤防の上から見えてな
かったものが見え始めます。

歩く足音に気付いたのか、ツバメが空高く舞い上
がりました。竹やぶに近づくとウグイスが声をかけて
きます。どこに居るのかと目を凝らしても、竹の緑と
ウグイスの体が同じ色なのでわかりません。声はす

れど姿は見え、口笛でウグイスの鳴き真似をすると、
ウグイスも応えてくれる。おお何と心地よい空気な
のでしょう。

悪戯に竹やぶの中へ石を投げると、竹に当たりコン、
コンと響く、鳴き止み飛ぶ羽の音がします。静かさの
なかの悪戯に心が痛みます。

川に目を向けると、カワウが首を長くして泳いでい
ましたが、こちらに気付き水の中へ潜ってしまいました。
200羽以上のカワウの巣が竹やぶの中にあります。
200羽のカワウが毎日10匹の鮎を食べると1日2000
匹の鮎がカワウに食べられます。10日で2万匹の鮎

がカワウの腹の中に消えてゆく。1ヶ月6万匹、3月4
月5月の3ヶ月で18万匹。毎日20匹だと、36万匹の
鮎を6月の鮎漁の解禁日まで食べている事になります。
川漁師のみなさんにとって、頭を悩ませる問題です。

そんな事を考えながら歩いていると、カワセミを見
つけました。カワセミは本来は青くなく光の加減で
青く見える構造色というシャボン玉の色がさまざま
に見えるのと同じ原理で青く見えるそうです。この
美しい外見から「溪流の宝石」などと呼ばれています。
特に両翼の間からのぞく背中の水色は鮮やかで、光

の当たり方によっては緑色にも見える事があります。
こんな美しい鳥が町のすぐ近くに居るのに、知らな
いのはかわいそうです。一歩川原に足を踏み込んで、
目を凝らしていると見えてくるのに、川原へ足を運
ぶ人はあまりいません。

このコーナーでは、「ふる〜ぶめいと」の黒川慶子さんにハーブの楽しみ方を中心に、食と健康、水の大切さなどについて語っていただきます。楽しいレシピなども登場しますよ。

セージを食べましょう

初夏、我が家のビニールハウスの中には、昨冬から咲き出しているパイナップルセージやチエリーセージ。黄花で葉や花に特徴のあるエルサレムセージ。濃淡の紫花をつけたセミアトラータ。料理や、お茶に使うコモンセージ、スパニッシュセージ、パープルセージ、ゴールドセージ、トリカラーセージ。また、観賞用のイエローマジエステイ、メドウセージ（赤紫、青紫、水色花）、ラベンダーセージ、ボッグセージ、ライラックセージ、ミニアータ、メキシカンブッシュユセージ、アメジストセージ、スカールレットセージ、インフォルクラータ、ガリックセージ、ジャーマンダーセージ、ローズシャンドリア、コスミックブルー、ブルーファイヤー、クレペラント、クラリーセージ、ディスコロールセージなどが夏から初冬にかけての、出番を待っています。

【黒川慶子さん経歴】

ハーブコーディネーター
板野町でハーブ農園を営む。
食と健康について、講演も務める。
徳島県薬草協会会員
上板町薬草協会会員

めしくください。

コモンセージのようになさげなく加えてみるのも、新しい発見や感動を覚えると思います。どうぞおた

スパニッシュセージ

また、夏野菜の天ぷらを揚げる時、大葉のようにコモンセージの天ぷらやかき上げを作ってもとてもおいしくいただけます。日常の食生活の中に、和風ハーブ（シソやみょうが、しょうが等）のようになさげなく加えてみるのも、新しい発見や感動を覚えると思います。どうぞおた

評価を受け「庭にセージを植えれば、老いることなし」とのことうざもあるほどです（コモンセージ）。育て方も簡単で、苗、もしくは、種子播きでも育てられます。ソーセージと言われるように、セージの持つ殺菌防腐作用は、ソーセージ作りには欠かせないと言われています。脂肪の少ないひき肉に、タイム、ローズマリー、コモンセージ、スイートマジユラムのみじん切りと塩をまぜ合わせ、形を作ってフライパンで焼くと自家製ソーセージの出来上がりです。

ふる〜ぶ INFORMATION

「吉野川の野鳥ガイドブック」をつくりました。

徳島河川国道事務所では、吉野川でよく見られる41種類の野鳥について掲載した「吉野川の野鳥ガイドブック」を作りました。

このガイドブックは、観察時期、大きさ、姿勢、生息域などのインデックスを活用することで、現地で確認した野鳥の種類がすばやく検索できるほか、携帯電話を使って野鳥の鳴き声を聞くことや、クイズに挑戦することもできるなど、楽しみながら野鳥観察などができるように工夫しました。

近年、吉野川ではシナダレスズメガヤなどの外来植物の繁茂により、レキ河原（小石で出来た河原）が失われつつあります。このことは、コアシサシなどの鳥が巣を作ったり、ヒナを育てたりする場所が減少していくことでもあります。

このガイドブックは、子どもたちをはじめ、より多くの人々に吉野川の自然環境の変化について関心を持っていただき、一緒になって吉野川の自然環境のことを考えていただけたらとの願いから作ったものです。

今後は、フィールド講座での野鳥観察会や、皆様と一緒にやりたいと考えています野鳥の生息状況調査などで、このガイドブックを配布させていただく予定です。

【詳しいお問い合わせは】…徳島河川国道事務所 河川環境課 TEL088-654-9176



レキ河原で繁殖するコアシサシ



「フィールド講座」による野鳥会観察の様子

平成19年度の徳島河川国道事務所における吉野川に関する主要な事業を紹介します。

【河川事業】

- 「よりよい吉野川づくり」に向け、河川整備計画を早期に策定します。
- 河川事業の実施については、継続箇所を早期完成を目指し、より一層事業を進めていきます。
- 洪水時における漏水等を防止し、堤防の安全性を向上するため、吉野川下流地区（上板箇所）で、堤防補強を行います。
- 洪水の氾濫を防止するため、吉野川上流（岩津～池田間）及び旧吉野川で築堤事業を行います。
- 吉野川流域の内水被害の防止・軽減を図るため、排水機場の整備を進めていきます。
- 地域の社会経済基盤を支え、個性豊かな活力ある地域づくりを支援するため、吉野川において水辺交流拠点の整備等を進めていきます。
- 東南海・南海地震等の対策として、非常時の管理体制の強化・充実等を図ります。

河川改修事業



▲上板町上六条地先

洪水時において、河川水が堤防に浸透し漏水が発生する区間で、洪水に対する安全度を向上させるため、上板箇所（延長510m、上板町上六条地先）の漏水対策事業を行います。



▲三好市三野町清水地先

近年、浸水被害が頻発している吉野川上流地区（岩津～池田間）の無堤地区において、早期に洪水を防ぐため、芝生箇所（延長340m、樋門1基 三好市三野町清水地先）、加茂第一箇所（延長150m、東みよし町三加茂中庄地先）の用地買収および築堤事業などを進めます。



▲北島町高房地先

旧吉野川流域は、氾濫域に住民の財産・資産が集まっていることから、一度無堤部から洪水が氾濫すると甚大な被害となります。このことから早期に洪水防御を図るため、大麻箇所【新喜来上流地区】（延長260m、北島町高房地先）の築堤事業を進め、大津箇所【中喜来地区】（松茂町広島地先）の築堤事業の検討を行います。

一斉水質調査

7月22日（日）に実施予定
みなさまの参加をお待ちしています。

床上浸水対策特別緊急事業



▲徳島市国府地先

平成18年度より、吉野川の飯尾川、桑村川流域で頻発する内水被害を軽減させるため、角ノ瀬排水機場新設事業（20m³/s 徳島市国府地先）、川島排水機場改築事業（12m³/s→18m³/s吉野川市川島町桑村地先）に着手し、内水（吉野川に排水できずに氾濫した水）被害の軽減を目指します。

都市水環境整備事業



▲美馬市美馬町中島地先

吉野川上流左岸西村・中島箇所において、地元美馬市と連携し「水辺の楽校」整備として、遊歩道、低水護岸の整備を進めます。また、今切川百石須箇所において、地元北島町と連携し、河川利用の盛んな今切川において「水辺プラザ」の整備について新たに着手します。

維持修繕事業



▲堤防除草

河川管理施設の維持管理、堤防除草等を実施します。また、樋門の修繕など老朽化した施設などの補修を行い、出水による被災の防止を図るとともに、河川の美化、愛護運動を積極的に進めます。

よりよい吉野川づくり 吉野川水系河川整備計画については
<http://www.yoshinoriver.info>

—— 施行箇所 —— H19年度施行箇所
- - - - 未施行箇所 - - - - 暫定施行箇所

ふる～ぶ 編集後記

スクリーンに映し出される美しい眉山や、吉野川の光景。映画「眉山～びざん～」は、愛するふるさを見つめなおすいい機会となるような気がしました。（か）

実は、私もエキストラで参加しました。映画の撮影は繊細な作業であるということがわかりました。全国の方に見てもらって多くの人に徳島や吉野川を知ってもらいたいです。（や）

美郷ほたるまつり（吉野川市美郷）

「美郷のホタルおよびその発生地」として国の天然記念物に指定されている美郷のゲンジボタル。美郷ほたる館周辺にてほたるまつりが開催されます。5月26日（土）～6月10日（日）は、JR阿波山川駅からシャトルバス（無料）が運行されます。6月2日（土）と3日（日）には、獅子舞や観覧会などのイベントも開催されます。

問い合わせ先：美郷ほたる館 TEL (0883) 43-2888

今月の表紙イラスト

亥の干支プレゼント

佐藤潔さんが吉野川の竹を使って作った亥の干支細工を抽選で2名様にプレゼントします。ご希望の方は、ハガキまたはFAXに住所、氏名、電話番号、誌面の感想もお書きください。締切は6月29日（金）です。

〒771-1156
徳島市応神町応神産業団地13-28
ふる～ぶ編集部 竹細工プレゼント係

ふる～ぶは、吉野川流域の市町村役場、図書館、博物館、公民館等の公共施設および道の駅にて、自由にお持ちかえりいただけます。皆様ご愛読ください。